



心優しい日本

ガンバートル ゾルザヤ
GANBAATAR ZOLZAYA

私は日本に来て今年で三年になります。海外で暮らすことは初めての経験で期待と不安でいっぱいでしたが、とにかく一生懸命頑張ろうと思っていました。空港で日本に降り立った時から、日本という家族の一員になったような気持ちで、とにかく日本のことが色々知りたくて、目に映る知っている文字にとっても興味を惹かれました。「注意して下さい、気を付けて下さい」「触れるとケガをする恐れがあります」気が付いたら、私が始めに目にしていた物は、注意書きや説明書ばかりでした。そこには人の役に立つ説明や注意点などの情報がまじめに書かれていました。

「そうか！日本人はこういったルールに従って生きているんだ！日本はみんながルールを守って成り立ってる社会なんだ！」私はこのように思い、そして、ルールをきちんと守っていけば、日本の社会でうまく生きて行けると思いました。実際に会社でも、皆定められた細かいルールを守って仕事をしていたので、それで良いのだと思っていました。しかし、ある日私はルールだけではない日本の社会の素晴らしさを体験することになりました。

それは色々なグッズを販売しているお店での出来事でした。可愛いグッズがいっぱいあり、店内もお客さんで混雑している中、私は思わず手にしていた商品を落としてしまいました。商品は床の上に転がって割れてしまい、「大変！怒られる、お金を払わなければいけない」と思った途端、店員さんが来ました。不安な気持ちで

いっぱいどうすれば良いか分からない私には店員さんは、「大丈夫ですか？ケガしてないですか？」と訊いてくれて、商品より私のことを気遣ってくれました。「良かった〜」と安心したと同時に、店員さんの対応の凄さに感激しました。小さいグッズが割れただけで、ケガをするわけでもないけど、物より人を大事にして、心配してくれたことが嬉しかったです。この時の経験で私は日本はいつも他人を気遣う社会であることに気がきました。思い返せば私が初めて日本に来て目にした説明書や注意書きなども全部そうでした。「5キロ以上の物は載せないで下さい！壊れて、ケガする恐れがあります！」ただ“壊れる恐れ”ではなく、壊れてしまったらそれに当たってケガをする恐れがありますという風に書いてあるのです。物が壊れても、無くなってしまってもそれはまた作ることができるのです。でも人がケガをしたり、いなくなってしまうたらそれはまた作り出すことはできません。そのような人のことを大切にしている社会なので日本は世界に誇れるような安全性の高い国を作ることができたのだと感じました。ルールはルールとしてきちんと守る日本人、しかし決してそれだけではなく、他人を思いやる心を大切にする日本人・日本社会をこの三年間で学べたと思っています。また母国に帰った後もこの学んだことを活かして、生きていきたいと思っています。

心優しい日本ありがとうございました。